

第1回千葉市動物行政に 関するあり方懇談会

令和4年6月23日



千葉市について

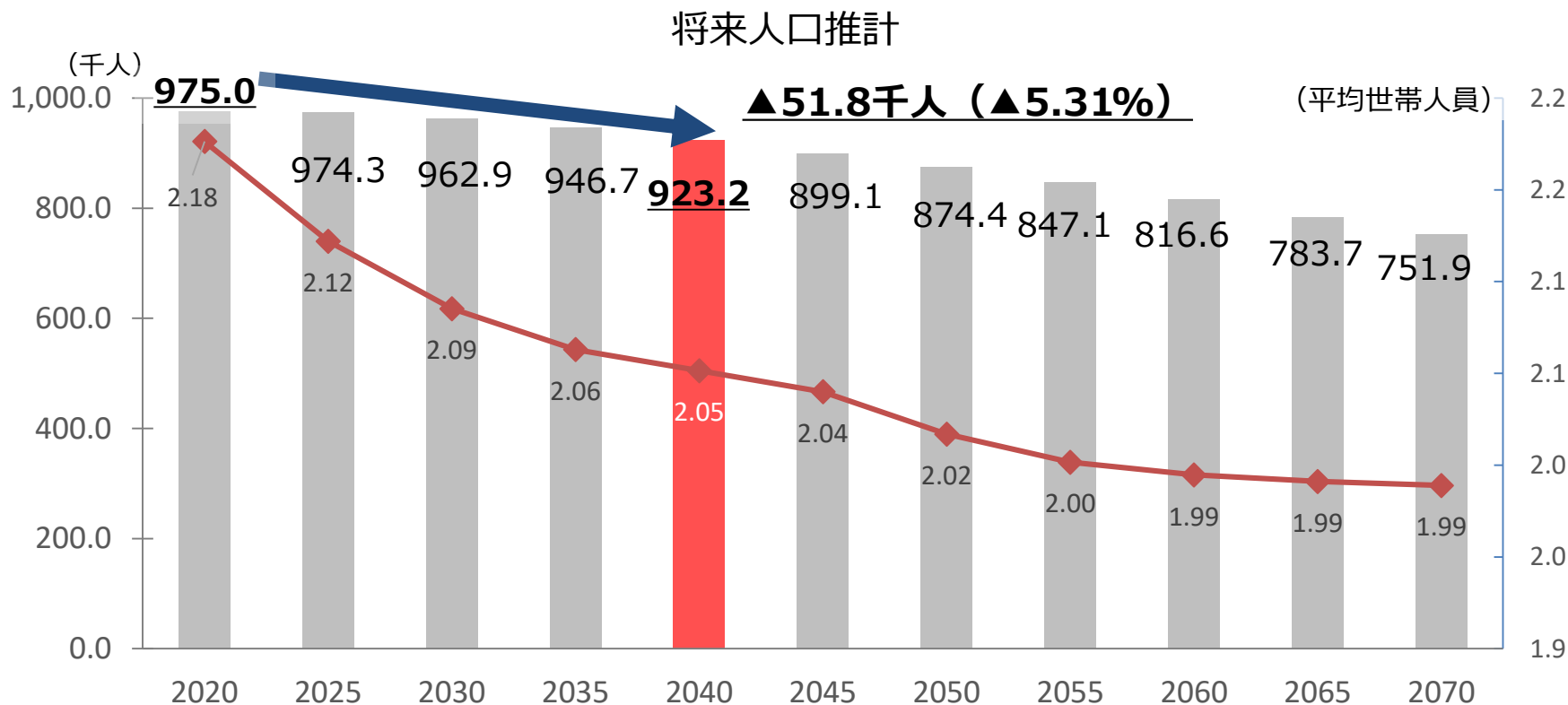


- ・平成4年に政令市に移行し、今年で政令市移行30年（市政施行101年目）
- ・人口約98万人（政令市中で12番目）
- ・面積は、約272 km²（政令市中で16番目）
- ・6区の行政区を有する（中央区・花見川区・稲毛区・若葉区・緑区・美浜区）
- ・千葉県のほぼ中央部に位置し、幕張新都心などの都市部や豊かな自然環境に恵まれている。



将来予想される千葉市の総人口推移

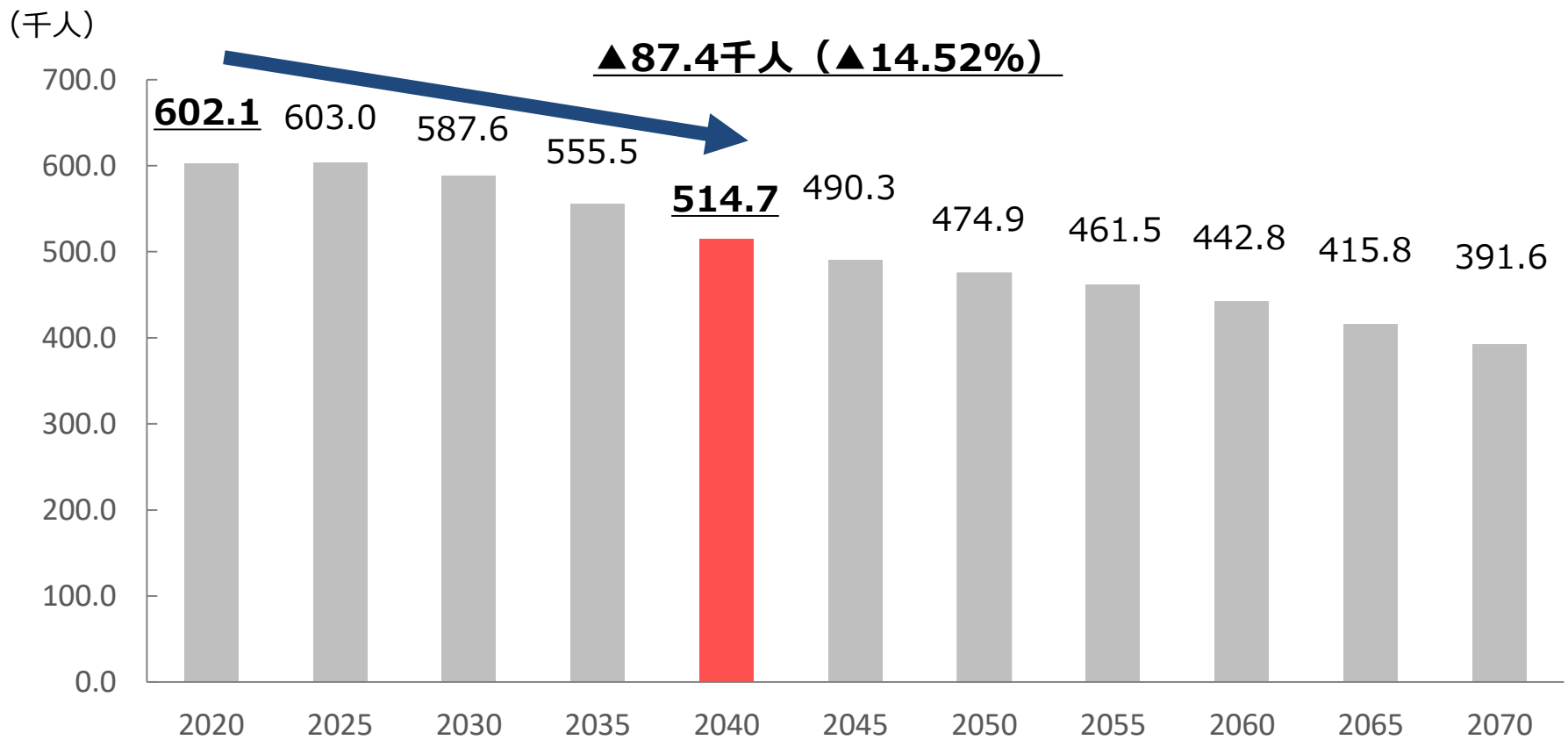
- ▶ 総人口は2020年代前半をピークに減少
- ▶ 1世帯当たりの平均世帯人員は年々低下、単身世帯が増加
- ▶ 空き家・空き地の増加
- ▶ 公共施設・インフラの需要減



将来予想される千葉市の生産人口推移

- 生産年齢人口（15-64歳）は継続的に減少、2040年は2020年比▲87.4千人
- 経済・公共の担い手減少 → 生産力低下・税収減、市民サービス低下

生産年齢人口の見通し



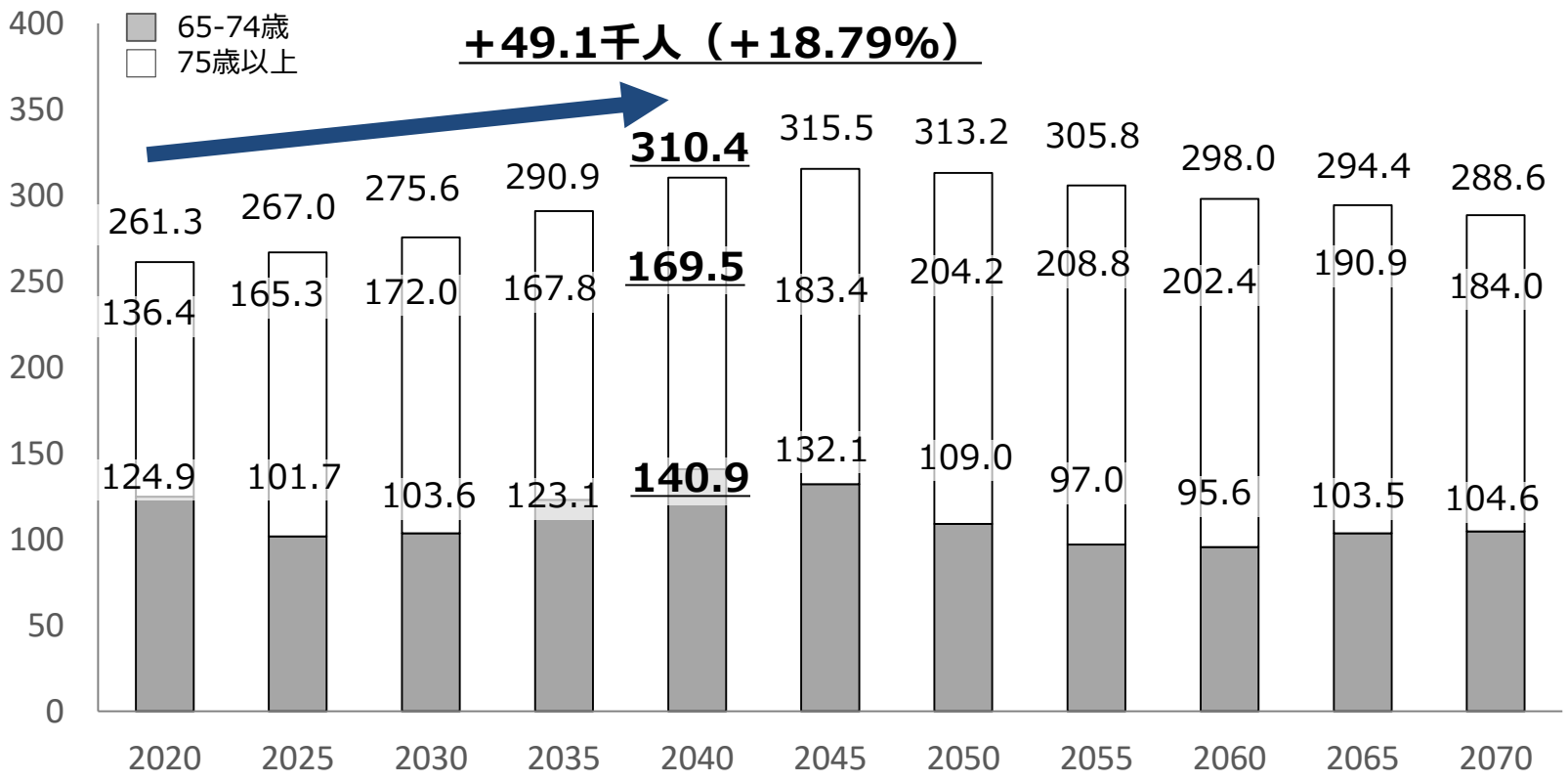
出典：千葉市基本計画（案）概要（一部修正）

将来予想される千葉市の高齢者人口推移

- 高齢者人口は継続的に増加し、2040年は2020年比49.1千人増加（ピーク：2045年）
- 独居老人の増加、老老介護などによる高齢者と特有の問題が増加

(千人)

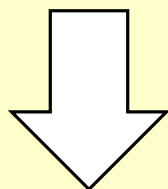
千葉市の高齢者人口見通し



出典：千葉市基本計画（案）概要（一部修正）

(1)生産年齢人口の減少 (2040年は2020年から約18%減少)

(2)高齢者人口の増加 (2040年は2020年から約20%増加)



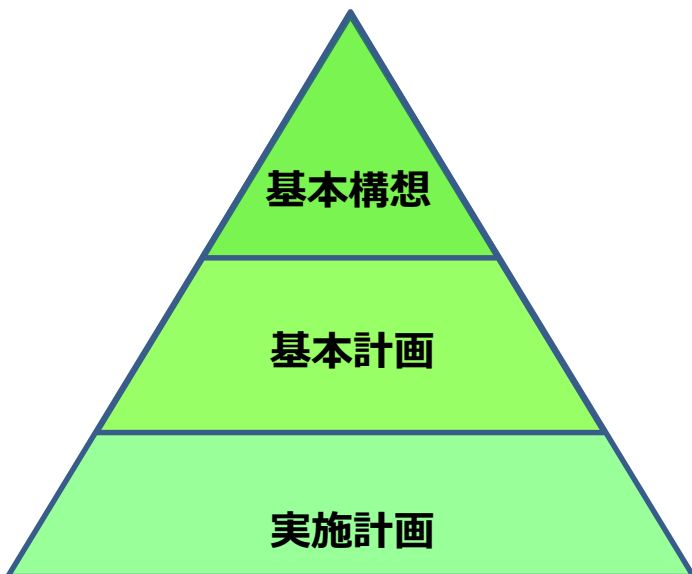
より長期的な未来を展望しながら、まちづくりを行っていく必要

こうした課題に対応すべく、千葉市は現在、
千葉市基本計画を策定し対応している。

I 千葉市基本計画

- 市の総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成
- **基本計画**は、基本構想の実現に向け、**まちづくりの方向性や今後の施策展開を提示**

【千葉市総合計画の計画体系】



基本構想

市政運営の指針として、恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標、望ましい都市の姿を示す

【基本理念】人間尊重・市民生活優先

【基本目標】人とまち いきいきと幸せに輝く都市

基本計画

基本構想を実現するため、まちづくりの方向性などを示す基本方針や今後の施策展開を示す

【計画期間】2023～2032年度（10年間）

実施計画

基本計画に基づく具体的な事業を提示

【第1次実施計画】2023～2025年度

出典：千葉市基本計画（案）概要（一部修正）

10年・20年先の都市・地域社会のあるべき姿を見据え、
まちに関係する様々な主体が手を携えながら、
千葉市をより豊かなものとするためのまちづくりの方向性を明らかにする計画

千葉市ならではの計画とするために

出典：千葉市基本計画（案）概要（一部修正）

①千葉市の特性を活かす

②中長期的な未来を見据える

③みんなで共有し、取り組む

④地方創生を進める

みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市

10年後に実現すべき千葉市の姿

- 本市の特性である「自然」、「利便性・ゆとり」、「拠点性・交流」を活かし、都市の活力と自然の潤いが織りなす、新たな価値が生まれるまち
- 本市に住まい、活動する人々が、生涯を通じて学び、成長を続けることで、一人ひとりの個性を活かし自分らしく活躍できるとともに、多様な主体がつながり連携しあうことで、未来に向けて輝き続けるまち
- このようなまちの実現に向けて、目指すべき10年後の本市の姿を「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」と定め、みんなが共有し、ともにまちづくりを進めるための指針とする

Ⅱ 令和3年度までの経過

論点整理

意見交換会
全5回

懇談会

第3次実施計画
(平成30～令和2年度)
〔2018～2020〕

令和3年度

新基本計画
令和4～5年度



センター再整備を位置づけ

超党派議員連盟 要望書
ボランティアの方からの要望書等

超党派議員連盟 要望書

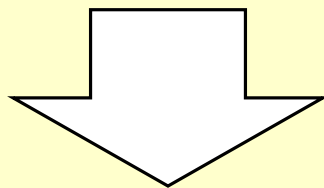
現在



Ⅲ 懇談会の目的、進め方及びスケジュール

(1)生産年齢人口の減少 (2040年は2020年から約18%減少)

(2)高齢者人口の増加 (2040年は2020年から約20%増加)



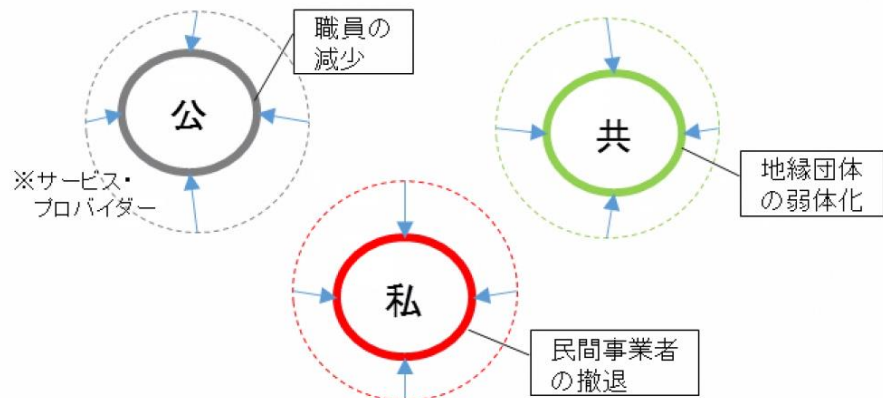
本市財政等への影響

- ▶税収減、社会保障関係事業費増
- ▶生産年齢人口減少、人材確保が困難

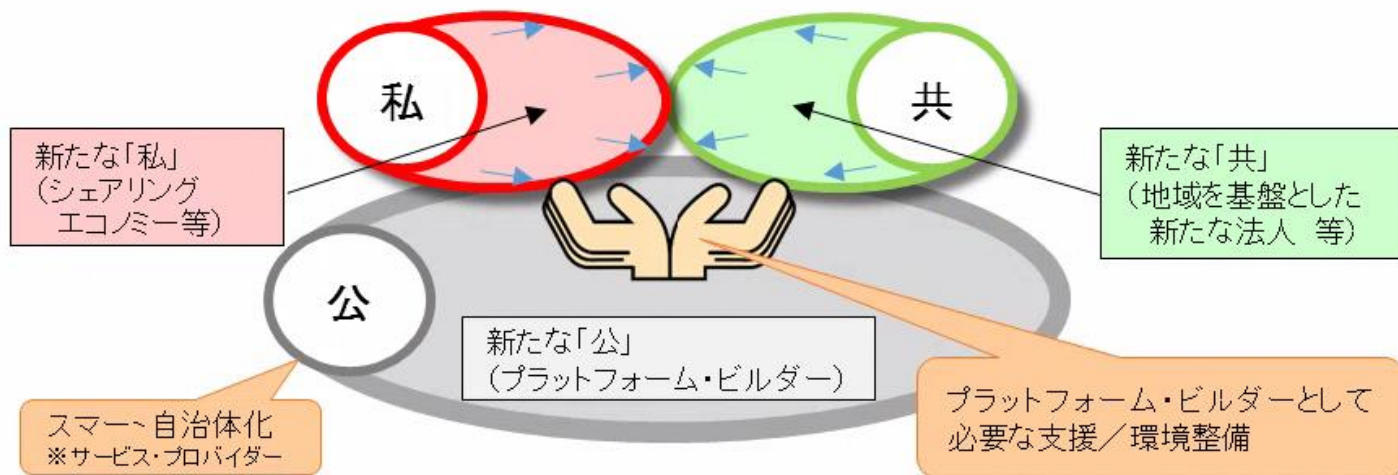
→限られた財源、労働力

プラットフォームビルダーへの転換

【公共私機能の低下】



【新たな公共私協力関係】



**千葉県らしい持続可能な人と動物の共生社会
の実現へ向け、**

**本市の目指す方向性をもとに、
より実現可能なあり方を策定し、**

専門家の皆様よりご意見をいただく。

懇談会後半

現状のセンター機能では、
対応が難しいことも事実であり、
将来の千葉市の動物行政の羅針盤となる、
あり方を整理し、策定したあり方に沿った
センター再整備についても検討をしていく。

千葉市らしい 持続可能な人と動物の共生社会の実現

3つのカテゴリ(コンセプト)

動物の福祉の 発信・教育拠点(仮)

- (1) 動物福祉の啓発や学びの拠点機能について
- (2) 適正飼養の啓発・指導について
- (3) 収容動物の飼養管理について

持続可能な 連携拠点(仮)

- (4) 動物ボランティア等の交流・育成・協働について
- (5) 関係機関・団体等との連携について

生活の安全と 公衆衛生の拠点(仮)

- (6) 狂犬病予防対策の拠点
- (7) 災害時対応の拠点について

2か年をかけ計5回程度の予定

